リニューアル計画に寄せて

（シリーズ　No９）

命に関わる事業に参加

草津北支部副支部長
野添　正一

民主的な診療所づくり、早や半世紀

滋賀県下に民主的な医療機関（膳所診療所）の開所に駆けずり回って、早や半世紀（54年）が経過、続いて坂本診療所、そして、こびらい生協診療所へと、診療所建設の運動が続いて行きます。

医療生協こうせい駅前診療所の開設には、遠く土山の山間部で家庭訪問を何回となく行いました。人間にとって最も大事な命に係わる事業に、参加できたことは光栄の至りです。

こびらい生協診療所も開所以来30年の節目に当たり、リニューアル計画が進行しています。患者に寄り添い、患者の立場に立ち、組合員に支えられた医療機関を存続させ、発展させるリニューアル計画は大事業です。

地域になくてはならない医療機関として、病人を増やすのではなく、事業所の利用者を増やし、健康な組合員を増やす為にも、年齢を問わず年に一回健診を受診したいものです。75歳以上の組合員も組合員健診を受け、早期発見、早期治療で長生きしたいものです。

増資運動の提案に全組合員の協力を！

そして、財政を支えるべく、リニューアル時の金融機関からの借入金を減らすためにも、増資運動に協力しましょう。一度に５０００円は厳しくとも毎月１０００円なら、可能ではないでしょうか。こびらい生協診療所のリニューアル計画を全組合員の協力で成功させましょう。

（前号のリニューアル計画に寄せては、シリーズ№８の間違いですので、お詫びして訂正いたします。）

【ご指摘を頂きました】

塩少々とは、一つかみではなく指先で少しつまむ量（一つまみ）だと思います。

男やもめのかんたん料理 *NO.34*

（金岡　英明）

カボチャ・サンマ缶の炊き込みご飯

今回、ご飯を炊く時にサンマを先に入れるか、カボチャを先に入れるかで非常に悩みましたが、形を整えるために、サンマを先にしました。

カボチャ（小さ目 1 個）を一口サイズに切り置いておき、お米（６合）を洗って水は少し少な目でその上にまづサンマ缶（３缶）を出しのせますが、味付けはサンマ缶のオイル出汁だけで、なにも入りません、最後にカボチャを乗せて下さい。

炊き上がりましたら、サンマもカボチャも崩さないようにしっかりと混ぜて器に盛れば出来上がりです。

今回もメインは炊き込みご飯ですから、おかずは、豆腐・キャベツの塩こぶ和え・野菜のバター炒めです。

＝4月は 16 日（木）が食事会です＝

活動紹介　草津北（波紋）支部

ほほえみ配達ごくろうさま会

2024 年度の草津北支部、「ほほえみ配達ごくろうさま会」を３月９日、こびらい生協診療所生協ホールにて開催しました。

日頃ほほえみ配達を担っていただいている組合員８名に参加いただき「しが健康医療生協機関紙ほほえみ」や「波紋支部ニュース」の記事について交流しました。

「班会の報告には班名だけでなく地域名も入れて欲しい」、「ほほえみには湖南支部の情報も載せて欲しい」、「全部のサークルの予定が分かる一覧表があるといいね」「『ほほえみ』も主な写真はカラーにしないと分かりにくい」、「支部ニュースには体を鍛える体操のコラムを掲載して欲しい」などなどたくさんの意見をいただきました。より良い機関紙をめざして改善していきたいと思います

（草津北支部事務局長　畠山重弘）